

第3学年A組 美術科授業案

日時 平成27年6月16日第6校時
場所 美術室
授業者 谷 隼志

1 単元 附中紹介PV ～30秒に込めた思い～（映像）

2 単元の構想

（1）本単元で目指す子どもの姿

ある高校のCMと出会った子どもは、30秒で見る人の心を惹きつけるCMに興味を抱く。子どもは、本校のよさを30秒の動画で紹介しようと、ストーリーの展開や撮影、編集方法を工夫する。グループで制作する中で、思いを伝えるには見る目的や対象に合わせて動画を制作することの大切さに気づき、多くの場面で動画が活用できないか考え始める

（2）本単元で伸ばしたい力

これまで子どもは、文字のデザインの単元では、視点を変えることで感じることのできる表現方法の美しさ、抽象造形の単元では、相手に考えさせることで印象を与える抽象造形の美しさを感じることができた。その中で、観る力を伸ばした。また、シンボルマークデザインの単元では、テーマに沿ったデザインを表現するためにはどのようにすればよいか考えて発想する力を伸ばした。

本単元では、動画を教材とする。現代社会では、多種多様の動画を瞬時に見ることができ、また、誰でも簡単に動画を撮影することができる時代になってきた。その中でテレビCMは、30秒という短い時間で、見る人の心を惹きつけている。その要素を調べ始めた子どもは、思いをより強く伝えるためにはどうしたらよいか考え、アイデアを生み出して発想する力を伸ばす。また、専門家のアドバイスをもとに適した撮影、編集の表現方法を選択していき構想する力を伸ばしていく。

（3）はたらきかけと「学んだこと」を行動につなげる子どもの姿

感じる段階では、学校の取り組み（授業・行事・部活）を情報としてまとめた動画（5分30秒）と学校の情報は少なく、校風を抽象的に表現した動画（30秒）の2つの学校紹介動画を提示する。子どもは、動画は短い時間の中でさまざまな思いを相手に強く印象付けることができると気づいた。そこで、自分たちの学校のよさを附中紹介PVとして30秒の動画で表現してみたいと計画を立て始める。

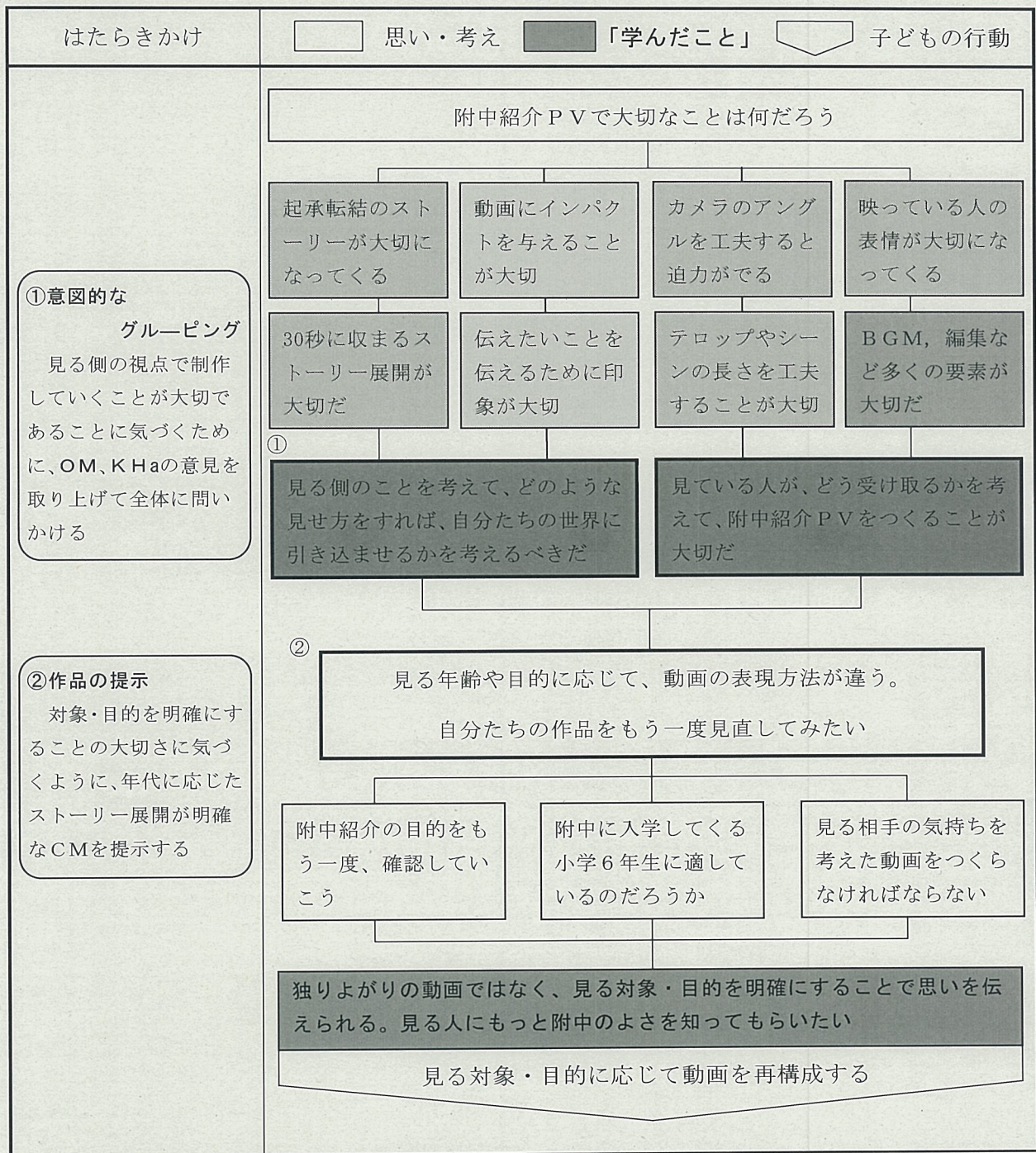
生み出す段階では、どのようなストーリーが見る人の心を惹きつけるか悩んでいた。そこで、起承転結がはっきりしている展開のCMとストレートに思いを伝えていく展開のCMを提示する。子どもは、ストーリー展開の多様性に気づき、強い印象を与えるストーリー展開を考え、再構成していく。また、動画を制作していく中で効果的な撮影・編集方法を利用したいと考える。そこで、専門家の意見を聞く機会を設定する。子どもは、カメラアングルや効果的な音楽、テロップの出し方を工夫すれば、見る人の心を惹きつけられると気づき、再び撮影をしたり、編集を変更したりして動画を再構成し始める。そして、完成が近づき再構成した動画が見る人にどう感じているか意見が聞きたいと考え始める。そこで、完成を前に試作動画を視聴する機会を設定する。動画は、ストーリー展開や撮影、編集の工夫など表現方法が多様であり、多くの要素を組み合わせて制作することで心を惹きつけるものができることと気づき、完成に向けて動き始める。

広げる段階では、満足のいく動画ができたと考えていた子どもに、年代に応じたストーリー展開が明確なCMを提示する。子どもは、動画は独りよがりのものではなくて、見る対象・目的をしっかり把握することでより思いを伝えられることに気づき、動画を再構成して完成させる。また、多くの場面で動画を活用しようと考え始める。

4 本時の構想 (12/16)

ある高校のテレビCMに出会った子どもは、30秒という短い時間でも見る相手に強い印象を与えることができる動画に興味を抱き、自分たちも附中紹介動画をつくりたいと4人1組のグループで制作を始めた。より見る人に印象を与えるにはどうしたらよいか考え、制作を進めていった。そして、試写会を行い、専門家からのアドバイスを受けて動画を再構成させていった。しかし、完成に近づいた動画を互いに鑑賞した際には、多くの課題が出された。

本時は、前時の多くの課題を受けて改善するために、附中紹介PVの動画制作で大切だと思うことについて意見交流を行う。多くの子どもは、撮影・編集方法の工夫やストーリー展開など、制作者の視点での改善点についてしか考えていない。そこで、見る側の視点が大切であると考えているOM、KHaを指名し、見る側の視点について考えて制作することの大切さについて、目を向ける。また、年代に応じたストーリー展開が明確なCMを提示することで、対象・目的を明確にすることの重要性に気づき、動画を再構成していく。



	主なはたらきかけ	□ 思い・考え	■ 「学んだこと」	▽ 子どもの行動	美術科で重視する力	
感じる	<p>○作品の提示 短い時間(30秒)でも、ストーリーの工夫や効果的な編集を行えば、印象に残る動画が作れることに向けて、2つの学校紹介動画を提示し、比較できるようにする</p>	映像で文字の工夫を表現できた。見る人に思いが伝わった	学校説明会で入学してくる子に附中を紹介したい	<p>☆観る力 ・動画作品を数多く見ることを通して、動画制作の思いに関心をもち、映像表現方法の工夫を感じ取ったりする</p>		
	<p>○作品の提示 ストーリーの多様性に気づくようするために、起承転結がはっきりしている携帯会社のCMと、そうでない企業の2つのCMを紹介する</p>	学校説明会で附中を紹介するにはどうしたらよいか 1~2時	わかりやすく伝えるには、説明をしながら映像があるべきだ	印象を与えるには、聴覚・視覚を効果的に使うとよいのでは	限られた時間で伝えるには、映像で視覚的に伝えるべき	<p>☆発想する力 ・自分たちの学校を30秒で紹介するためにわかりやすく、印象に残るためのアイデアを生み出していく</p>
生み出す	<p>○試作の推奨 より印象を強くするための撮影時のカメラアングル、効果的な音楽・テロップの出し方に気づくようするために、試作の動画を制作して互いに鑑賞する場を設定する</p>	学校紹介をするには、動画が最適ではないか	短い時間で思いを伝えられそう	附中に入学したいと感じてもらいたい	印象に残る動画をつくりたい	<p>・思いを多くの人に伝えるために、自分の思いや考えを伝える対象、目的を考えてアイデアを生み出していく</p>
	<p>○グループ制作 動画の表現方法が多様であることに気づくようするために、グループでストーリー展開や編集方法などについての意見交換をしながら制作を行う</p>	動画は、短い時間でさまざまな思いを見る人に強く印象付けることができる。附中を動画で紹介してみたい	絵コンテを描いてストーリーの展開を考えなくては	動画を見る対象を考えて制作することが大切だ	印象を与えるには、ストーリーの展開を考えなくては	<p>☆構想する力 ・生み出したアイデアをどうしたら表現できるか撮影や編集の方法を工夫して適した表現方法を組み合わせたい</p>
広げる	<p>○作品の提示 見る対象・目的が明確になるようするために、年代に応じたストーリー展開が明確なCMを提示し、意見交換を行う</p>	附属中学校のよさを動画で表現し始める 3~10時	起承転結が全て正しいとは言えない	入学してくる子にわくわくさせたい	起承転結を意識した展開にしよう	
	<p>自分の思いや考えを伝えるためには、さまざまな表現方法がある。どの表現方法が最適か考えていくようにしたい</p>	ストーリー展開が大切だ	動画が単調でおもしろみがない	作品が完成に近づいたが何か物足りない	音は本当に、動画にあっているのか	
		カメラの角度や位置を変えることで見る人の印象が変わる	撮影・編集のプロの方に意見を聞いてみたい	音をあえてなくしたり、効果的に使ったりして印象が変わる		
		動画の表現方法は、多様である。ストーリー展開、撮影方法、編集方法を組み合わせて附中紹介をもっとよくしたい	伝わりやすい動画を再構成していく 11~16時 (本時13)			
		見やすくするにはどうしたらよいか	伝わりやすくするにはどうしたらよいか	印象を与えるにはどうしたらよいか		
		カメラアングルを工夫して印象を与える	ストーリーをわかりやすくしていく	音を効果的に使い、印象を与える		
		自分の動画が見る人に伝わるか意見が聞きたい				
		何の目的でつくるかが大切だ	見る相手の気持ちを考えてつくりたい	誰に見せる動画なのか考えたい		
		独りよがりの動画ではなく、見る対象・目的を明確にすることで思いを伝えられる。多くの人に思いを届けられる動画をつくりたい				
		見る対象・目的に応じて動画を制作していく				